

令和4年度 第1回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和4年5月27日(金) 13時30分から14時10分まで		
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室		
議 題	委員長及び副委員長の選出について、定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会長	片野 雅文
	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事	森 俊治
	委員	大垣歯科医師会副会長	馬淵 直樹
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣市女性連合会長	竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授	馬場 貞子
	委員	弁護士	鈴木 一郎
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
概 要	1. 委員長及び副委員長の選出について 「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第4条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会長の沼口 諭氏、副委員長には大垣歯科医師会長の片野 雅文氏が選出された。 2. 報告事項 (1)定例報告事項 1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績等について報告した。 ①紹介率……3年4月～4年3月:64.5% 4年4月:62.6% 逆紹介率…3年4月～4年3月:131.0% 4年4月:132.3% ②地域連携予約診察件数…3年4月～4年3月計:11,640件 4年4月計:995件 地域連携予約検査件数…3年4月～4年3月計:995件 4年4月計:81件 ③開放型病床登録医数…4年4月末:160人(医科131人、歯科29人) 利用率…3年4月～4年3月:8.5% 4年4月:14.3%		

	④救急受診患者数…3年4月～4年3月計:37,323人(月平均3,110人) 4年4月 3,286件 救急車利用件数…3年4月～4年3月計:10,030件(月平均836件) 4年4月 828件 救急入院患者数…3年4月～4年3月計:3,154件(月平均263件) 4年4月 263件 ⑤地域医療従事者に対する研修…3年4月～4年3月開催数:24回、院外受講者105人 4年4月開催数:開催実績なし *病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、西濃地域緩和ケア研修会、薬薬連携研修会、糖尿病メディカルWEBセミナー、診療報酬に関する委員会等 市民対象講演会等…3年4月～4年3月開催数:0回、院外受講者0人 4年4月開催数:開催実績なし ⑥地域連携クリニカルパス登録状況…3年4月～4年3月登録総数840件 4年4月登録総数68件 4年4月末時点でのパス開始からの登録総数:11,276件 ⑦OMNet利用状況…4年4月末時点の利用登録医療機関:117機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:35,043人 ⑧地域の医療機関との連携相談実績…3年4月～4年3月計:12,639件 4年4月 1,076件 医療相談実績…3年4月～4年3月計:1,507件 4年4月 88件 令和3年度諸記録の管理・閲覧 0件 2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。 (委員) 歯科から開放型病床を活用することができなかったが歯科口腔外科の抜歯依頼、親不知で利用がある。これについて何か情報はあるのか。 (事務局) 令和3年度開放型病床登録医に登録された市内の先生からの利用があった。 (委員) この事例を研究し、モデルとして広められればと思う。 (委員) 救急外来は令和2年度に比べ令和3年度は増えている。コロナの流行る前と比べて令和3年度はどの程度戻ってきているのか。 (事務局) 年間4万を超えていた年度があったことを考えるとコロナの流行る前までは回復はしていないと認識しており、救急車の1万台についてはかなり戻ってきている
--	--

	と認識している。 (委員) 令和2年度はコロナ禍で受診控が多かったのではないと思うが、令和3年度は受診ができるようになってきているのではないと思う。救急外来の状態が戻ってくるのは大変有り難い。 (委員) 開放型病床の利用率の考え方についてどの辺が最適と考えていいのか。 (事務局) 地域医療支援病院の基準で、共同利用に関しては具体的にどれ位の利用が望ましいということは決められていない。当院としては多くの先生に利用して頂きたいと考えている。 (委員) 地域連携クリニカルパスで動いていないものがあるが COPD は難しいのか。 (事務局) 少ない施設で始まりそれを広げていこうという考えだったが呼吸器の医師はコロナの対応で大変忙しくて中々登録ができないという状況であった。 (委員) よろず相談・地域連携課の相談実績で医療相談が一昨年度に比べて 56%位増加してがんに関する相談が多いように思うが、具体的には何が増えたのか。 (事務局) 当院は高度型のがん拠点病院でがん相談支援センターの相談体制を強化している。その中で医療機関の紹介、就労支援などの相談もあり増えた要因の一つとして認識している。 (2)紹介率向上への取り組みについて 1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。 ①令和3年度の患者さんからの電話予約実績は 661 件。地域別では大垣市の先生が約 9 割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約 4 割を占めており小児科、皮膚科の順となっている。4 年度 4 月の患者さんからの電話予約実績は 64 件。 ②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和元年度から令和3年度までの3年間で利用合計は 184 件。診療科別としては、循環器内科が 33.2%、外科が 18.8%で、この2科で5割以上を占めた。4 年度 4 月の相談件数実績は 8 件。 2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。
--	--

	3. その他 (委員) 院外処方を増やす件で、市民病院にかかっている方に院外処方をPRできたらと思うのでチラシ、ポスターを作り市民病院に掲示させてもらうことは可能か。 (事務局) 可能と考える。 (委員) 消化器内科の先生が少なくなり外来の患者さんを紹介すると患者さんのフォロー、カメラや大腸検査のフォローなども体制が変わるのではないかと思う。どの程度の影響を考えているか。 (事務局) 特に胃カメラ、大腸CFは開業医の先生方にご負担頂く割合が増えるのではないかと考えている。 (委員) かかりつけ医紹介センターについて教えて頂きたい。 (事務局) かかりつけ医の無い患者さんに住んでいる最寄りの医療機関を紹介している。
次回開催	令和4年度第2回委員会は8月24日に開催予定とする。